

2024 年

2月23日 (金・祝)

14:00 開演 13:30 開場

フェリスホール

(横浜市中区山手町52)

チケット 一般 3500円

学生券 2000円

(入場時に学生証の提示を求める場合があります)

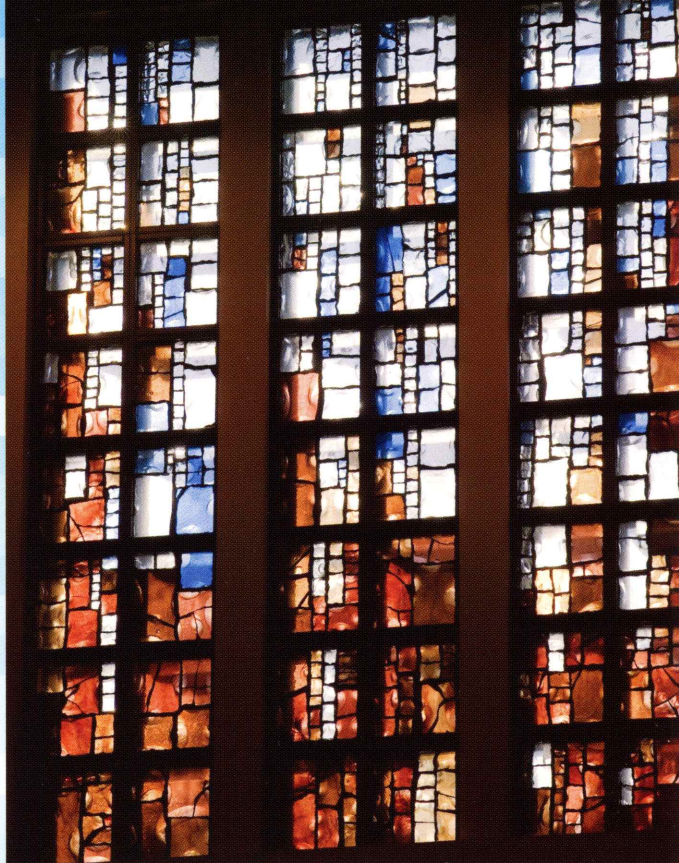
【お問合せ & お申込み】

Fグループ同窓会室 (木曜11:00~17:00)

Tel: 045-350-8930

mail: ferris@fgroup.jp

バロック音楽への誘い
イギリス王家へ捧げた
音楽の花束



Fgroup
Reunion Concert



H. パーセル

劇音楽『妖精の女王』より
「嘆きの歌」

G.F. ヘンデル

調子の良い鍛冶屋
オペラ『セルセ』より
「オンブラ・マイ・フ」

ヴァイオリン ソナタ 他



チエンバロ

及川 れいね
フェリス女学院大学音楽学部
器楽学科卒業。ピアノを小林
周子氏に師事。桐朋学園大学
研究科、フランス・サンモ
ール国立音楽院、パリ市立音
楽院にてチエンバロを学ぶ。日
本チエンバロ協会運営委員。



バロック・ヴァイオリン

宮崎 蓉子
東京音楽大学器楽科を卒業後
渡英。ギルドホール音楽院在
学中、理事長推薦により特待
生としてディプロマを修了。
イギリス及びヨーロッパ各地
で演奏活動をし帰国。現在ソ
ロ、およびアンサンブル奏者
として活動を広げる一方、後
進の指導にあたっている。



ソプラノ

小倉 麻矢
フェリス女学院大学音楽学部
声楽学科卒業。同ディプロマ
コース修了。英国音楽大学
RCM 古楽科声楽ディプロマ
コース修了。帰国後はリュ
ートソングや古楽アンサンブル
にて活動。2019年初のソロ
CD「流れよ 私の涙」発売。



ヴァイオラ・ダ・ガンバ

なかやま はるみ
東京音楽大学ヴァイオリン専
攻卒業。古楽器に惹かれヴィ
オラ・ダ・ガンバを神戸愉樹
美、石川おかり各氏に師事。
第14回古楽コンクール入選。
フェリス女学院大学ヴィオラ
・ダ・ガンバ講座副手歴任。
通奏低音奏者、ソリストとし
ても活躍している。



Fgroup Reunion Concert

2024.2.23 (金・祝) 14:00

フェリスホール

バロック音楽への誘い

～イギリス王家へ捧げた音楽の花束～

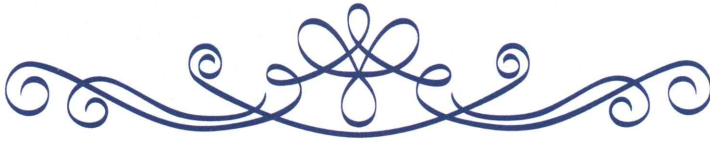
小倉麻矢 ソプラノ

宮崎蓉子 バロック・ヴァイオリン

なかやまはるみ ヴィオラ・ダ・ガンバ

及川れいね チェンバロ

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループ
後援 フェリス女学院大学音楽学部



ご 挨 拶

本日は、コンサートにお越しいただきありがとうございます。

イギリス王家と音楽は、

歴史的にとっても強い結びつきがあります。

バロック期のイギリスにおいて、

音楽の才能がある少年達のほとんどが

王室礼拝堂の聖歌隊として音楽家のキャリアを始めていました。

王室付きの音楽家になることは

音楽家としてステイタスの一つでもありました。

戴冠式や結婚式などのお祝い事を始めとする様々な場面では、
イギリスとゆかりのある作曲家による音楽が演奏されてきました。

2022年に亡くなられたエリザベス女王は

バグパイプがお好きで、

毎朝9時に彼女専属のバグパイプ奏者の演奏で朝を迎えたそうです。

本日のプログラムでは

女王の葬儀でもその楽曲が演奏された、

イギリスバロック期を代表する2人の作曲家、

ヘンリー・パーセルとジョージ・フレデリック・ヘンデルの

作品を中心にお届けします。

シンプルな構造、どこか懐かしい美しいメロディーラインが特徴の

バロック期の音楽、

作曲された当時の楽器を使用しての演奏では、

響きの違いやアンサンブルでの音の重なりなど、

新しい発見があるように思います。

そのような違いも味わいながら、どうぞお楽しみください。



～ Programme ～

スコットランド民謡 スカボロー・フェア * 器楽曲
Scarborough Fair

H. パーセル 長音階のグラウンド ト長調 *
Henry Purcell A Ground in Gamut in G Major, Z. 645
(1659-1695)
薔薇よりも甘く
Sweeter than roses

T. バルツァー ジョン、今すぐキスしに来て *
Thomas Baltzar John, come kiss me now
(ca.1631-1663)

H. パーセル メアリー王女のためのオード『来たれ 汝ら芸術の子らよ』より
Henry Purcell 「美德の女神たちよ」
“Bid the virtues”, from Ode for Queen Mary, *Come ye sons of Arts*

J. プレイフォード ファロネルのグラウンド (フォリア) *
John Playford Faronell's Division on a Ground (Folia)
(1623-1686)

H. パーセル 私を泣かせて下さい
Henry Purcell O let me weep

オペラ『アーサー王』より「こよなく美しい島」
“Fairest Isle” from Opera *King Arthur*

G. F. ヘンデル 調子の良い鍛冶屋 *
George Frederick Handel The Harmonious Blacksmith, HWV 430
(1685-1759)

オペラ『セルセ』より アリア「懐かしい木陰よ (セルセ)」
“Ombra mai fu (Serse)”, Opera *Serse*, HWV 40

ヴァイオリン・ソナタ第4番ニ長調 op. 1-13 *
Sonata for Violin No. 4 in D Major, op. 1-13

オラトリオ『メサイア』より「大いなる喜びよ」
“Rejoice greatly”, from Oratorio *Messiah*, HWV 56

カンタータ『私の胸は騒ぐ』
Cantata *Mi palpita il cor*, HWV 132b

Profile

小倉 麻矢 Ogura Maya (46回) ソプラノ

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業。同校ディプロマコース修了。英国音楽大学(RCM)古楽科声楽ディプロマコース修了。ヘンデル作曲“デイダミア”、“フラーヴィオ”など帰国後はバロック・オペラの舞台にも活躍の場を広げる。古楽アンサンブルでの親子で楽しめるコンサート活動や、リユートソングの演奏など、「言葉を語り、旋律を歌う」事を目指し、イギリスで出会った英詩の美しさをいかにして届けるかも研究中。2019年初のソロCD「流れよ 私の涙」発売

<https://www.mayaogura.com/>

宮崎 蓉子 Miyazaki Yoko バロック・ヴァイオリン

東京音楽大学器楽科を卒業後、2004年渡英。ギルドホール音楽院在学中、理事長推薦により特待生としてディプロマを修了。これまでに、バイオリンを前澤均、瀬戸瑠子、バロックバイオリンを渡邊慶子、R.ボジャー、S.スタンディジの各氏に師事。渡英中、オーケストラ・エイジ・オブ・エンライ トメント、ロンドンフェスティバル・オーケストラのメンバーとして活動。またウィリアム・クリスティ指揮によるオペラツアーに参加し、イギリス及びヨーロッパ各地で演奏活動をし帰国。帰国後はソロ、およびアンサンブル奏者として活動を広げる一方、後進の指導にあたっている。2014年ソロCD「Ciaccona」をリリース。現在、オルケストル・アヴァン=ギャルド、Promusica Baroque Academyメンバー。Purcell Projectのコンサートミストレスを務めている。

なかやま はるみ Nakayama Harumi ヴィオラ・ダ・ガンバ

東京音楽大学ヴァイオリン専攻卒業。卒業後、ヴィオラ・ダ・ガンバを神戸愉樹美、石川かおり各氏に師事。パオロ・パンドルフォ氏のマスタークラス公開レッスン、イタリア・ウルビーノ夏期古楽講習会を受講。

初期バロックアンサンブルを中心に、古楽アンサンブル《アントネッロ》を濱田芳通、西山まりえ各氏に師事。人々の琴線に触れる演奏を目指し、探究を続けている。

第14回古楽コンクール入選。フェリス女学院大学ヴィオラ・ダ・ガンバ講座副手歴任。

現在、古楽アンサンブル、通奏低音奏者及びソリストとしてフリーで活躍している。

使用楽器：佐藤一也作1996年

及川 れいね Oikawa Reine (47回) チェンバロ

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科（ピアノ）卒業。桐朋学園大学古楽器科（チェンバロ）研究生修了。フランス、サンモール・デ・フォッセ音楽院を金メダルで修了後、パリ市立高等音楽院で学ぶ。ピアノを須田眞美子、小林周子、チェンバロを渡邊順生、リチャード・シーゲル、ノエル・スピート、ピエール・アンタイの各氏に師事。ソロ、通奏低音奏者として多くの演奏家・団体と共演するほか、2台チェンバロ「デュオ・ミュゲ」、トリオ「アンサンブル・バロック・レジーナ」の活動も行っている。日本チェンバロ協会運営委員

<https://reineoikawa.jimdo.com/>

本日の使用楽器：加屋野木山作2018年忠敬君

楽器協力&調律：加屋野木山